



あ・そ・び・ま・し・ょ

校長 羽田野庸史

3学期は順調にスタートしましたが、2週目後半からインフルエンザ罹患者が増え、1月は3学級で学級閉鎖を実施せざるを得なくなりました。引き続き、各ご家庭でも、インフルエンザ予防をお願いいたします。

さて、昭和50年代に流行った「山口さんちのツトム君」という童謡をご存知でしょうか。幼なじみの山口ツトム君の様子が変わったと感じた女の子が、励ますために遊びに誘うという出だしで始まります。この時、ツトム君は、「あ〜と〜で〜」と遊びを断ります。実は、かつての子供たちの世界には、このような円滑なコミュニケーションの決まり文句がありました。私も友達の家遊びに行く時は、玄関前で「〇〇君、あ・そ・び・ま・し・ょ」と呼びかけました。それに対して友達は、「は〜い。」か、「あ〜と〜で」と応えます。休み時間にも、遊んでいる友達の輪に入りたいときは、「入・れ・て」と言って入りました。学校以外でも、お店に行くと、「く・だ・さ・い・な」と言ってお店の人を呼び出し、用を足しました。このようにかつては、自然に身に付けていたコミュニケーションの基本が今では、習得が難しくなっています。気の合う限られた集団の中でのみコミュニケーションをとるようになり、コミュニケーションをとっているつもりが、実際は、自分の思いを一方的に伝えているに過ぎない場合もあります。

実際、子供たちの休み時間のトラブルでも、あるグループがボール遊びをしているところに、後から来た子供たちはその遊びに入ったつもりが、もともといた子供たちはそのことを知らなかったということがよくあります。そして、同じ遊びをしていながらも互いのルールが違っていたためにトラブルになるという具合です。

コミュニケーション能力は、現代では必要不可欠な大事な能力です。コミュニケーションがとれなくては、社会人になっても仕事はこなせません。サッカーのようなスポーツ選手でも、上部リーグに残るためには、コミュニケーションのテストがあるそうです。子供のコミュニケーション能力を高めるために、家庭でも、意図的に挨拶をしたり、雑談をしたり、いろいろな人と接する機会を設けたり、一言で答えられないような質問をしたりする場面を設けたいものです。

2月 行事予定

日	曜	行 事 等	放課後 遊び
1	金	安全指導	3〜6
2	土	日本文化の時間	なし
3	日		
4	月	学校公開 委員会活動	5〜6
5	火	学校公開 道徳授業地区公開講座	なし
6	水	4時間授業	なし
7	木	児童集会 避難訓練	4〜6
8	金		3〜6
9	土		
10	日		
11	月	建国記念の日	
12	火		3〜6
13	水		なし
14	木	音楽朝会	4〜6
15	金		3〜6
16	土	ファミリー遊び 日本文化の時間	なし
17	日		
18	月	クラブ活動(3年見学、6時間授業)	3〜6
19	火		3〜6
20	水	International Assembly(3・4校時)	なし
21	木	体育朝会(高)	4〜6
22	金	体育朝会(低) 新一年生保護者会 港区&サントリーホール Enjoy Music プロジェクト(4年)	3〜6
23	土		
24	日		
25	月	委員会活動	5〜6
26	火	社会科見学 国会・江戸東京博物館(6年) まなびの森・あい保育園交流(1年)	3〜6
27	水	4時間授業	なし
28	木		4〜6

2月の生活目標

生活指導主任 河合 一洋

寒さに負けず進んで運動しよう。

一年で最も寒い時期になりました。風邪やインフルエンザが流行る時期です。定期的に窓を開けて空気の入換えをしましょう。また、この寒い時期こそ、鬼ごっこなど、お互いに楽しく体を動かすことができる遊びをしたいものですね。ミニマラソン大会を開けば、体もポカポカ。今月は、寒さに負けず、進んで運動をしましょう。

International Assembly について
国際科担当 山崎 修一

International Assembly は、本校の特色ある行事で、国際科の授業で学んだ成果を発表します。

児童相互の発表と鑑賞のため、特に保護者席はありませんが、参観は可能です。なお、ご参観の際は、児童席後方にてお互いに譲り合って、ご参観くださいますようお願いいたします。

1. 日時・場所と発表する学級

平成31年2月20日（水） 体育館にて

○3時間目（10：45～11：30）

1-1、3-A、5-1、2-1、4-1、6-A

○4時間目（11：35～12：20）

1-2、3-B、5-2、2-1、4-2、6-B

※3年生と6年生は、クラスを解体して学年をAとBの2つのグループに分けて発表します。

2. 発表演目と発表順

1年生 「We're Going on a Bear Hunt」

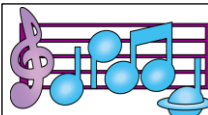
3年生 「Seasons of Fun」

5年生 「Peach Boy」

2年生 「Treasure Hunters」

4年生 「Little Red Riding Hood」

6年生 「Past & Future」



絶対音感と相対音感

音楽専科 畠中圭一

音楽の授業で「畠中先生って絶対音感あるんですか？」と聞かれたことが何度あります。子供たちのなかで、あるいは世間一般に「絶対音感」は音楽に長けた天才がもっているもの」というようなイメージがあると感じます。たしかに、雨音やクーラーの音まですべてドレミの音名で聞こえるという稀有な方もいるようですが、もちろん絶対音感にも程度があり、私は楽器の音であれば固有の音名で識別することができる程度の絶対音感持ちです。

一方で、相対音感というものも存在します。これは、基準となる音との比較によって音の高さを識別する能力です。これも程度によりますが、特別な音楽教育の有無に関わらず、相対音感ほぼ全員にもともと備わっている力です。実は、歌や楽器の演奏をする上では、この相対音感の方がとても重要です。旋律の流れを包括的に把握したり、誰かが鳴らした音に対して気持ちのいい音を探って出したり、合唱で上手くハモることができたりする力は、すべて相対音感によるものです。音楽の力を伸ばすためには、この相対音感を鍛えていくことの方が重要なのです。

これは、人間関係や社会に置き換えても同じであると感じます。「自分」と「他者」という絶対的な存在がある中で、重要であるのは、どのように関わっていくかです。関わる相手や置かれている環境によって言葉遣いや立ち振る舞いを上手に使い分けてコミュニケーションを取り、自らの責務を果たしていくまさに「相対音感」のような力が社会では重要じゃないでしょうか。そのような観点からも、音楽の学習が音楽だけにとどまらず、そこから子供たちの生き方や考え方に反映できるような授業を心掛けています。



図工について

図工専科 長谷部 雅美

図工は、材料や描きたいものや色や形を考え自分で試行錯誤し、「これを作ろう、描こう」と決められる楽しさがあります。私が、図工の授業を通して育てていきたい子供の姿は、次のとおりです。

1. 「おもしろそうだな」と自分の思いや考えを表すことを喜びと感じられる子供
2. 「何かが生まれそう」とひと工夫することを大切にしている子供
3. 「どうしようかな」と興味を広げたり深めたりしながら、活動にじっくり取り組む子供
4. 「友達の心の中にも何かがおこったんだな」と友達にも表したい思いや考えがあることに気づき、その価値を大切にしている子供
5. 「失敗した」と思ってもそこから学ぶことができる子供

東町小学校の子供たちは、世界中のさまざまな国から集まっています。そのため、図工を指導するなかで驚くことや感心することがたくさんあります。デッサンやレイアウトも国際色豊かで様々なバリエーションがあります。これらの特色を生かして、鑑賞の時間には様々な表現を認め合い、学び合うことができる授業をしています。

教育相談について

スクールカウンセラー 新井 信子

今年度も毎週火曜日は、新井スクールカウンセラー、毎週木曜日は、宮本スクールカウンセラーが担当しています。休み時間や放課後等、多くの子供たちが友達関係や家族のこと、習いごとのこと等、様々なことを話しに来ます。少しだけ日常を離れて、自分の話にじっくりと耳を傾けてもらえる時間を得ることで、明るい表情で退室していく子供たちの表情を見てみると、この仕事のやりがいを感じます。時には解決策も一緒に考えます。特に友人関係の問題については、子供たちのOKももらった上で、担任の先生にご相談しながら解決することもあります。大人にとっては「え？大したことじゃないのに・・・！」と思うようなことでも、意外に子供の世界にとっては「おおごと」のこともあり、丁寧に対応をしていくことが必要なこともあります。もちろん大人が先回りし過ぎたり、干渉し過ぎたりして、子供たち自身で何とかしようとする「成長力」を削がないように配慮しています。

保護者の方々からのご相談もお受けしています。子供たちの行動面や情緒面、発達面など気がかりなことがございましたら、お気軽にご相談ください。事前に担任の先生や、下里養護教諭、副校長を通してご予約ください。

